

.Deb

銀河系唯一のDebian専門誌

2014年09月27日

特集：DebConf14のビデオ紹介

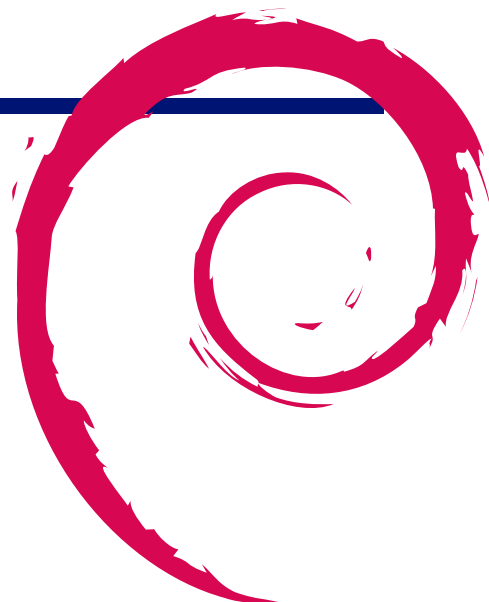


会 勉 強 会 ア ー ジ ー ビ ー ア ー ト

目次	
1	事前課題 2
1.1	野島 2
1.2	rogerlocalet.com 2
1.3	dictoss(杉本 典充) 2
1.4	吉野 (yy-y-ja.jp) 2
1.5	henrich 2
1.6	野首 (knok) 2
2	Debian Trivia Quiz 3
3	最近の Debian 関連のミーテ ィング報告 5
3.1	第 116 回東京エリア Debian 勉強会 5
4	DebConf14 のビデオ紹介 6
4.1	DebConf14 6
4.2	DebConf14 のビデオに関す る情報 6
4.3	視聴するにあたって補足 6
4.4	DebConf14 大物ゲスト 7
4.5	Debian の主なトピック 8
4.6	日本の参加者の方の発表 9
4.7	その他 10
4.8	おわりに 10
5	会場での無線 LAN のつなぎ方 11
5.1	はじめに 11
5.2	wpaupplicant 及 び /etc/network/interfaces を 利用の場合 11
5.3	その他の無線 LAN 用パッ ケージを利用の場合 11

1 事前課題

野島 貴英



今回の事前課題は以下です:

1. 本日、何の作業をやるかを宣言ください。

この課題に対して提出いただいた内容は以下です。

1.1 野島

xmris のパッケージ化作業を続ける。

1.2 rogerlocalet.com

お世話になります。Roger です。初めてなので、特に課題がなし、見学だけをさせていただきます。宜しく願い致します。

1.3 dictoss(杉本 典充)

- ITP 中の wx3.0-doc パッケージの修正、パッケージメンテナチームへメールを送る
- Debian 新メンテナガイドを読んで理解する

1.4 吉野 (yy-y-ja-jp)

DDTSS*¹

1.5 henrich

- net-snmp パッケージのバグレポートを眺める
- debianjp での改善案を練る

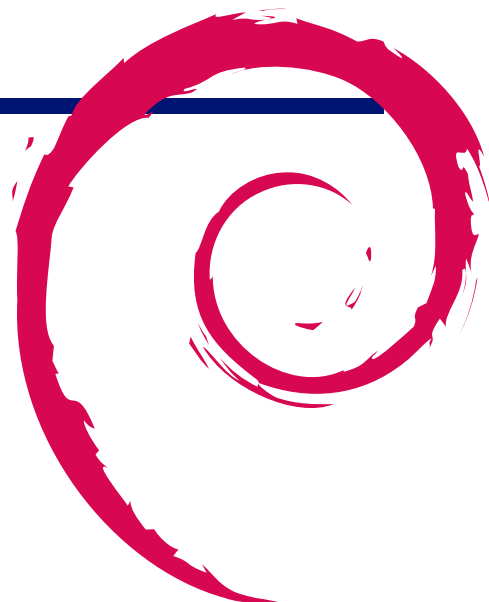
1.6 野首 (knok)

- groonga のドキュメント整備
- jessie インストーラの調査
- libsixel のパッケージ化
<https://github.com/saitoha/libsixel>

*¹ <http://ddtp.debian.net/ddtss/index.cgi/ja>

2 Debian Trivia Quiz

野島 貴英



Debian の昨今の話題についての Quiz です。

今回の出題範囲は debian-devel-announce@lists.debian.org や debian-news@lists.debian.org に投稿された内容などからです。

問題 1. FSF が Debian Project へ案内をしてきた、自由ソフトウェアのみの元で動かすことの出来るハードウェアについてのデータベースは次のうちどれ？

- A h-node.org
- B wiki.debian.org/Hardware
- C openbenchmarking.org

問題 2. Debconf14 の参加人数は結局何人？

- A 900 人
- B 300 人
- C 1000 人

問題 3. 8/17 に `buildd` にて使われるアーカイブがどこからもアクセスできるようになりました。url はどれ？

- A ftp.debian.or.jp/debian/
- B ftp.jp.debian.org/debian/
- C incoming.debian.org/debian-buildd/

問題 4. 2014/8/19 に登録商標として Debian ロゴが正式に登録されたそうです。どこの国の登録商標でしょうか？

- A 米国
- B 日本
- C スイス

問題 5. 2014/8/24 の BitFromDPL によれば、Debian Project は仮想通貨による寄付をはじめて受け付けたそうです。具体的には何という仮想通貨でしょう？

- A Gree コイン
- B Crysta
- C BitCoin

問題 6. 検索エンジンの DuckDuckGO より、収入が入ったとのこと。2014/8/24 現在、月当たりの DuckDuckGO からの平均収入は月額いくらでしょう？

- A \$10
- B \$152
- C \$1400

問題 7. 2014/8/27 に Debian archive に搭載された 2 つの新しいアーキテクチャは、arm64 以外には以下のどれ？

- A sparc
- B mips
- C ppc64el

問題 8. 2014/8/31 にて、arm64 ポートの Debian 開発用に、無償の ARM64 用のコンパイラ・デバッガ等の開発キットの提供が行われたようです。製品名は以下のどれ？

- A Microsoft Visual Studio
- B IAR Embedded Workbench
- C DS-5 Development Studio

問題 9. Debian keyring からある大きさ以上の秘密鍵長を持たないキーが 2014/12/31 以降で削除される事についてのリマインドのアナウンスが流れていました。ある大きさとは以下のどれ？

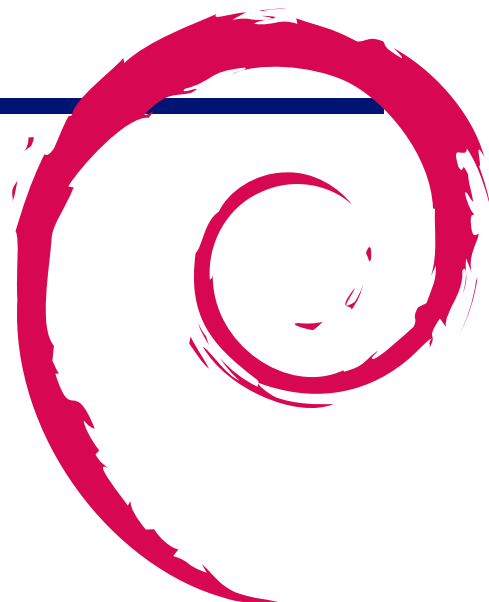
- A 512bit
- B 2048bit
- C 4096bit

問題 10. 2014/9/17 に Debian Policy が改定されました。改定後のバージョンはいくつ？

- A 3.9.5.0
- B 3.9.6.0
- C 4.0.0.0

3 最近の Debian 関連のミーティング報告

野島 貴英



3.1 第 116 回東京エリア Debian 勉強会

東京エリア Debian 勉強会 116 回目は (株) スクウェア・エニックスさんで開催されました。

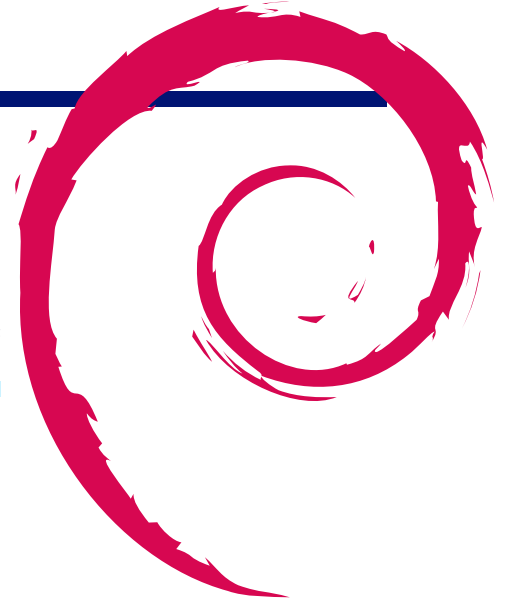
9 人の参加者がありました。セミナーは、なかおさんにて、Debian でタイルマップサーバーを作り、JAXA で公開されている海水表面温度データを OpenStreetMap に重ねて表示する件についての発表が行われました。

地球観測衛星から送られてくる地球の海水表面温度が Debian により処理されて図示される様は圧巻でした。データそのものは地球規模のサイズを対象している為、非常に膨大な量のデータを扱うことになり、そのままではズーム処理にて処理が非効率になってしまうところを、部分的に処理するやり方に変更してうまく処理されていました。なお、本しくみを使ったサービスは ISAC Tokyo 2014(http://tokyo.spaceappschallenge.org/2014_tokyo.html) にて発表されており、賞も受賞したとのこと。地球規模や、ISAC といった、非常にスケールの大きい事を対象にするお話を聞くことができ、非常に新鮮でした。

また、飛び込みではありますが、zinrai さんによる構成管理ツールの Ansible についての BOF が行われました。Debian での Ansible の現状と実際の使い方の例について、ディスカッションをしました。

発表の後はおもくもく会を行い、最後に各自で成果発表を行いました。

宴会は「路島と喰らえ 新宿東口靖国通り店」で行いました。



4 DebConf14 のビデオ紹介

野島 貴英

4.1 DebConf14

DebConf とは毎年 1 回 Debian Project 主催で開かれる大きなカンファレンスのことです。

そこでは、世界中から Debian Project の活動に興味を持つ方々が集まり、Debian の開発や貢献についての発表や活発な議論が行われています。

今年は第 15 回目のカンファレンスとなり*2、8/23~8/31 の間、米国オレゴン州ポートランドにて、DebConf14 として開かれました。

ここでは、DebConf video チームにより公開されている DebConf14 のカンファレンスの各セッションのビデオを視聴し語ってみます。

4.2 DebConf14 のビデオに関する情報

DebConf14 のスケジュールと、開かれたセミナーの概要などの情報は、DebConf14 の公式ホームページの <http://debconf14.debconf.org/> を見て下さい。

セミナーと BOF の動画ファイルは、<http://meetings-archive.debian.net/pub/debian-meetings/2014/debconf14/webm/> に webm フォーマットで置いてあります。video codec は vp8、audio codec は vorbis という、Debian らしくオープンな技術に拘ったデータ形式となっているのが特徴です。

4.3 視聴するにあたって補足

大量のビデオが公開されており、また時間も 1 時間弱程度はあるので、きっと本勉強会にいらっしゃるような熱心な Debian 関係者の方は、そのままのスピードで視聴するのではなく、早回しで視聴したいという要望を持たれる方がいらっしゃると思います。そんな時には、mplayer2 をお勧めしておきます。

```
$ apt-get install mplayer2
$ mplayer2 <動画ファイル名>
```

また、起動するとわかるのですが、あまり親切なメニューは出てきません。代わりに `man mplayer` するとわかるのですが、豊富なショートカットキーがあり、こちらを使う事により再生を制御できます。(表 1 参照)

また、英語の聞き取りが苦手な方には、DebConf subtitle project らによる、英語による書き起こしのテキストデータが入手できます。git からの入手の仕方は以下のとおりです。

*2 DebConf0 が存在するので、全部で 15 回目です。

キー	操作	キー	操作
[10% スロー]	10% スピードアップ
←	1 分戻し	→	1 分スキップ
↑	10 分戻し	↓	10 分スキップ
o	残り時間/再生時間表示 (複数回押す)	q	mplayer を終了

表 1 mplayer のショートカットキー

```
apt-get install git
git clone http://anonscm.debian.org/git/debconfsubs/debconfsubs.git
cd debconfsubs/2014/debconf14/english/wip/
```

2014/9/25 現在のところ、未完成のものも含めて 9 つのセッションに関する書き起こしデータが手に入るようです。なお、.srt の拡張子を持つデータは字幕データであり、字幕ファイルを扱える動画プレイヤーで字幕を表示しながらセッションの動画を視聴することが出来ます。こちらについての操作方法の例は、第 105 回東京エリア Debian 勉強会の 세미나資料 [1] に具体的に記載していますので、こちらを参考にしてください。

さらに、git に格納されるよりも早く字幕の英文を見たい、あるいは、そもそも自分で英文字幕を起こす手伝いをしたい人は、<https://wiki.debconf.org/wiki/Videoteam/Subtitles> で紹介されている <http://www.amara.org/> の字幕書き起こし用の WEB サービスにアクセスしてください。こちらのページから起こし途中の字幕を閲覧したり、字幕付きの DebConf14 のセッションの動画を実際に見ることが出来ます。

4.4 DebConf14 大物ゲスト

今回は、Debian に直接の関係はあまりないのですが、大物ゲストが呼ばれており、専門のセッションが開かれています。

4.4.1 Q&A with Linus Torvalds

Linux カーネルの最初の作者である Linus Torvalds 本人を呼んで、セミナー参加者から一人ずつ質問を受け続けるというセッションです。

- Linus さんの関心のほとんどは Linux カーネルそのものに費やされており、ディストリビューションの動向についてはあまり気にしてないようです。Debian も 1 度試したきりで結局 Mac に入れようとして失敗しただけのようで (Ubuntu も同様)。
- gcc の件や、systemd の件など、次々と一見答えにくい (?) 質問が次から次へと Linus さんにぶつけられていました。特に systemd の件では Linus さんもコミュニティでの扱いについて熱い答弁をされていました。
- GPU と kernel の関係などについて昨今の事情についての質問もありました。



最初の質疑で Linus さんも非常に気楽に答えていたためうっかり、品位に欠ける表現がところどころ飛び出してしまい、女性の DebConf スタッフ (Debian Women の方) に表現の注意を受ける一幕もありました。

4.4.2 Weapons of the Geek

クラッカー集団である Anonymous についての社会面、文化面の研究で有名な、Gabriella Coleman さんのセッション。Anonymous と Anonymouse を取り巻く独特のハッカー文化の解説と考察を行うというセッション。日本にはほとんど馴染のないサブカルチャー（例：XENU, Chanology, Scientology など）の紹介と、これらに対する Anonymous の考え方への影響などの紹介があって面白いです。



4.5 Debian の主なトピック

4.5.1 Bit From the DPL

2014 年も DPL 続投の Lucas Nussbaum さんのプレゼン。

プレゼン資料は、<http://blog.info/p/201408-dc14-dpl.pdf> で公開中。

- Debian Project の収支の件のお話が出ました。Debian Project は資産を Trusted Organization として認めた機関にあずけているのですが、全部あわせると、日本円で約 2,800 万円ぐらいある模様です。保有割合としては、SPI(米国/US\$預かり) が最も多い状況です。さらに、DebConf の度にスポンサーからの寄付を使い切れず資産が増えてしまう模様で、ここ 2 年がその傾向が顕著とのことでした。
- さらなる予算の活用についてのディスカッションが行われました。予算利用の候補としての案は以下の 4 つ。
 1. Debian の普及に使う（例：mini-DebConf をもっと開く。景品 (T シャツなど) を新しい貢献者へ配る、Debian のブースの何かに使う）
 2. セキュリティに関して強化。Debian 公式開発者へ暗号化用スマートカードを配る。
 3. 開発の効率化に活用（例：Sprint の活発な開催、開発用ハードウェアを充実させる、DebConf への travel スポンサーの増資）
 4. upstream との積極的なコミュニケーションの為に活用（例：upstream についてのカンファレンスへの参加の旅費。upstream の接待など）会場では参加者の挙手を募り、賛否の割合を確認していました。
- Debian Project に関して SWOT 解析をされていました。SWOT のうち、弱み (Weakness) としては、中核部分に関しての完全な人手不足、技術的でない部分への興味のなさや協力者の不足、Debian 開発者同士でノウハウの共有化が行われていない場合がある、パッケージ化が難しい、メンター不足やそもそも必要な技術力が高いなどで新参者の開発参加のハードルが非常に高い、upstream とのコミュニケーションが薄いという点が挙げられていました。脅威 (Threats) としては、他のディストリビューションではすでに解決済みのことに対応できていない、Debian の活動をするのに必要なスキル（開発とシステム管理作業など）を習得するような大学のカリキュラムがない、他プログラミング言語が独自で持つパッケージシステムと Debian パッケージの比較をされてしまうが挙げられていました。

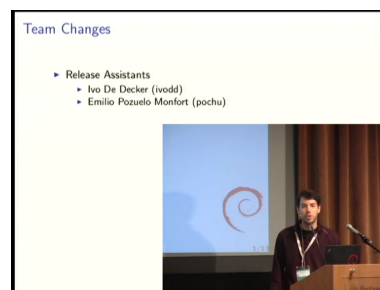


4.5.2 Jessie bits from the release team

Release チームのセッションです。

スライドは <https://release.debian.org/talks/debconf14/rt-debconf14.pdf>

主な内容として、



- freeze までのタイムスケジュールと内容は以下の通り。
 - 9/5 に新規の transition を止める（ライブラリのアップグレードはここで終了）
 - 10/5 より緊急のアップロードを無視しはじめ、testing への移行に10日かかるようになる。また、セキュリティチームからサポート不可のパッケージの吟味が行われるようになる。
 - 11/5 Freeze する。
- 現在の RC bug の残りは 450 個。2/5 以降、testing に移動するのが望ましくない判断されたパッケージは remove される。基本的にどのパッケージも remove から無事だとは思わないでほしいとのこと。
- 今から注意してほしい点として、今からはもう新規の transition を提案しないでほしい、Jessie に入れる気の無いパッケージのアップロードは一旦やめてほしい、とにかくインストールテスト（特に UEFI 対応の PC を持っている人はできるだけ協力タノムとの事）と、バグを潰してほしいとのこと。

4.6 日本の参加者の方の発表

今回、2名の日本からの参加者の方が発表をされていたのでここに紹介しておきます。

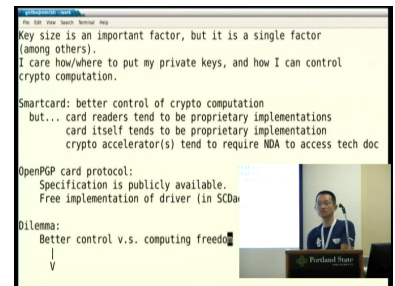
4.6.1 My PGP/PGP key is RSA 2048bit but I put the private key on GnuK Token

新部さんのセッション。

内容は GnuK Token の歴史と構造、動作の仕組みについてのセッションです。動作デモもありました。

スライドは、<http://gobby.debian.org/export/debconf14/bof/gnuK>

- GnuK Token は、gpg のセキュリティスマートデバイスとして動作できる USB ドングルの事。新部さん開発。このドングルを利用して gpg サインを行えば、暗号処理もドングル内部で行うため秘密鍵を不正に取り出されることもなくセキュアに署名・暗号化が出来る。



- GnuK Token では、乱数発生機として、未接続の内蔵 AD コンバータの1ビット目を使ったとのこと。
- GnuK Token は最大3つの鍵を扱えるとのこと。ストア可能なキーサイズは2kbytesはストアできる。
- 動作速度として、1.5秒でDebianパッケージのgpgサインが可能。

途中、ドングル売ってくれとの聴講者の要望があったのが印象的でした。

4.6.2 find & improve some bottleneck in Debian project

やまねさんによるライトニングトーク（以下LT）中の発表。動画ファイル名 Lightning_Talks_4.webm 中 0:43:14 あたりで発表。

スライドは http://www.slideshare.net/henrich_d/find-improve-some-bottleneck-in-debian-project-debconf14-lt

- NEW キューの ftpmaster によるチェックに時間がかかる事を解決したいという内容。現在 ftpmaster だけが膨大な量のパッケージのレビュー作業・差し戻し作業をやっている事により、作業量が多すぎて NEW キューの受け入れが滞りがちという問題がある。



- ここで review contributor という人を募集し、ftpmaster が現在行っている NEW キューのパッケージチェック作業を、彼ら（複数人）にやらせ、ftpmaster は最終の受け入れの OK/NG のみ出す役割にする。
- review contributor は、Debian 開発者候補としての訓練にも良いし、ftpmaster の作業が過多になって NEW キューが滞るのも解決できて一石二鳥でウマーというのがメリットなので、どうでしょう？という提案。

こちらをきっかけに、Debian Project に採用されると良いと思いました。

4.7 その他

その他発表で興味深い内容のものを紹介します。

4.7.1 Debian in the Dark Ages of Free Software

2012 年の DPL であった Stefano Zacchiroli(以下 zack) さんの発表です。

- Debian は DFSG Free な distribution を作り普及させたことでは一定の成功を取めた。
- OSS も大変身近なものになり、ユーザは、たくさんのソフトウェアについて改変の自由が提供されるようになった。
- しかしながら、これらが成功した一方で、クラウドサービスも進化したため、せっかく勝ち取ったはずのソフトウェアの自由が、クラウドサービスの普及により、結局ユーザの手から取り上げられつつある。
- また、自由 (Free)Software を作るには Free の開発ツール/開発環境が究極的には必須であるにもかかわらず、github/Gmail などユーザからみれば自由でないサービスが益々開発ツール/環境としての地位を強固なものにしている。
- このような時代にある事を認識し、これを自由 (Free) Software の暗黒時代と呼ぼう。



セッションでは、zack によるアイデアも披露され、また聴講者からも提案があったものの、zack 曰くはつきりとした良い解決方法はまだ自分にもわからないという事でした。

このセッションで示されている問題は、難しく由々しき問題です。共感される方は是非議論に提案に加わっていただけると幸いです。

4.8 おわりに

他にもいろいろなセッションの動画が公開されています。ここでは紹介しきれなかったセッションにも面白いものが多数あります。

興味がある方は是非視聴くださいませ。また、英語のヒアリングに自信のある方は DebConf Video subtitle チームに作業のご協力をおねがいします。

参考文献

- [1] OSC 2013 Tokyo/Fall 東京エリア Debian 勉強会セミナー資料, <http://tokyodebian.alioth.debian.org/pdf/debianmeetingresume201310-presentation.pdf>



5 会場での無線 LAN のつなぎ方

野島 貴英,Roger

5.1 はじめに

今回試験として、会場側でフィルタ無しのグローバル回線を用意しました。ただ、会場側のセキュリティポリシーにより、wpa-psk AES hidden SSID という方式での提供となります。

以下に Debian マシンでの接続方法を記載します。

また、自分の環境では違うやり方でつながったという方は、野島まで教えて下さい。こちらでもノウハウとして溜めていく予定です。

5.2 wpa_supplicant 及び/etc/network/interfaces を利用の場合

もっとも良いマニュアルは、`/usr/share/doc/wpa_supplicant/README.Debian.gz` となります。困った場合はこちらも合わせてご参照下さい。

以下に/etc/network/interfaces の定義について会場の例を記載します。

```
$ sudo vi /etc/network/interfaces
----以下のエントリがなければ追記ここから-----
iface wlan0_debian inet dhcp
    wpa-conf /etc/wpa_supplicant/wpa_supplicant_debian.conf
----以下のエントリがなければ追記ここまで-----
$ sudo vi /etc/wpa_supplicant/wpa_supplicant_debian.conf
----以下のエントリを追記ここから-----
network={
    ssid=<<会場の SSID>>
    psk=<<会場のパスワード>>
    scan_ssid=1
}
----以下のエントリを追記ここまで-----
$ sudo chmod 600 /etc/wpa_supplicant/wpa_supplicant_debian.conf
$ sudo ifup wlan0=wlan0_debian
```

また、ハマってしまった時のデバッグ方法は、`/usr/share/doc/wpa_supplicant/README.Debian.gz` 中の”4. Troubleshooting” の章が便利です。

5.3 その他の無線 LAN 用パッケージを利用の場合

すみません、自分が情報を持たないため、現場で教えて下さい。

メモにお使い下さい

メモにお使い下さい



Debian 勉強会資料

2014年09月27日 初版第1刷発行

東京エリア Debian 勉強会 (編集・印刷・発行)
